

平成 28 年 度



第 8 号

練馬区立旭丘中学校：発行 12月

今年を振り返って

校長 南 俊彦

陰暦12月を「師走」と言います。「師馳せ月」(しはせづき)から生まれた言葉であり、この言葉の語源説の中で、「師」とは「僧」であり、「師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月」と解釈するのが最も有力なものと言われています。また、「師」は「教師」のことで、「学校の先生も忙しくて走り回る月」という説もあるようです。もっとも最近の先生は、12月ばかりでなく1年中忙しい感がありますが、確かに12月は、3学年の先生方は進路指導のための会議や関連事務など、多忙感にあふれています。しかし、旭丘中の先生方は走りません。私たちが多忙感に追い回されて走っているのは、生徒達の落ち着いた学校生活に影響が現れてしまうと考えるからです。忙しさに振り回されることなく、普段と変わらぬ姿で生徒達と接し、きめ細かくかわっていくことが大切です。そうすることで、生徒達の心の安定も図れるものであると考えています。

さて学期末となりました。2学期を振り返ってみたいと思います。9月は2年生の職場体験があり働くことの大変さややりがいを学んできました。10月には本校の3大行事の一つである、文化発表会が行われました。舞台発表と展示発表ともに短い期間の取組でしたが、集中して大きな成果がありました。舞台発表ではどの学年・D組も真剣に取り組み、心に訴えるものがありました。展示発表は丁寧に作られた力作ばかりで、1日の展示ではもったいない印象です。文化発表会を通じて「一生懸命取り組むこと」は、どれだけ気持ちよく、かついいことを実感し合えたと思います。生活面では今学期も全学年が落ち着いた学校生活を送ることができており、一人一人が明確な目標をもち、その実現に自ら努力している生徒が多く見られました。11月に行われた定期考査前の放課後勉強会には4日間で延べ140人を超える多くの生徒が参加してくれました。放課後1時間という短い時間でしたが第二多目的室には熱気を感じました。日々の授業態度の面では、どの教科も背筋を伸ばし、しっかりと授業を受けていました。残念なことは、宿題や提出物を期限内に提出できなかったり、忘れて再登校したりした生徒がいたことです。計画的に課題に取り組んだり、提出期限を守って提出することは将来、社会生活を送っていく上で必ず必要なスキルです。ぜひ、この時期に身に付けてください。今年もあと3週間となりました。2学期の反省と共に、今年を振り返り新たな目標をしっかりと考えてほしいと思います。三者面談も終わり、特に、3年生は進路決定を控え、これから大事な時期になります。3学期も健康の自己管理とともに、落ち着いた生活と学習への積極的な取組に期待します。保護者、地域の皆様には色々ご協力いただきありがとうございました。今年には熊本地方、鳥取地方、福島地方と地震が多く、また台風による被害も多かった1年でした。災害に対する備えをしつつ、穏やかな年となることを願いたいと思います。来年もよろしくお願いいたします。

○3年面接練習 12月2日～20日

いよいよ3年生は受験のシーズンが近づき、12月2日より放課後に3年生一人一人と面接練習をしています。志望校の志願理由、自分の長所や短所、中学校生活で印象に残ったこと、進学先の学校でやりたいことなど様々なことを質問しています。「志願理由は？」と聞くと、待ってましたとばかりに頭の中の覚えた理由を思い出そうと努力し発言してくれます。あらかじめ用意した答え（文章）をたどたどしく思い出して語る生徒がいましたが、一言一句作った「文章」通り答える必要はありません。考えた文章を思い出そうとするので話し方が不自然になってしまいます。面接では聞かれたことの趣旨がきちんと相手に伝われば良いので本番ではもう少しリラックスして話しましょう。

面接練習の最後に「○○と△△の違いはなんですか？」という質問をしています。たとえば「江戸時代と明治時代の違いはなんですか？」というような質問です。この場合、正解は一つではありません。質問の目的は自分が今まで学んだ知識の中から自分で情報を取り出して、自分自身の言葉で語ることです。これからの社会に求められている学力は「教師が教えることで覚えること」+「自分の考えをもちながら学ぶ」ことで育つと言われています。一方的に教える教授型の授業ではなく「私なら」「僕なら」と多様に考えられる課題設定が必要です。そしてその課題を考えるのに十分な情報の量や質が適切であったかが授業に求められています。面接練習での質問は大げさに言うと、義務教育の9年間で学んできたことと自分の考えを結びつけて、自分の言葉で語って欲しいという願いから出たものです。

○命の授業 11月30日（水）

総合東京病院感染対策室感染管理認定看護師の渡邊恵奈さんより「感染予防を通じて」というテーマでお話をいただきました。冬の感染症の代表である、ノロウィルスとインフルエンザの予防についてお話を聞きました。感染を防ぐ一つとして、正しい手洗いの大切さを教えていただき、代表生徒が実際に手洗いをして汚れがどの程度落ちているか特殊な機械で確認をしました。結果は手首や爪の部分に汚れが残りやすく、注意して手洗いを行う必要があることを学びました。

○オリンピック・パラリンピック教育 12月2日（金）

bJアカデミー（バスケットボールアカデミー）代表理事の東英樹さんとbJアカデミーコーチ・アテネオリンピック日本代表の立川真紗美さんにご来校いただき、1、2年生は講演と実際に運動する場面を見せていただきました。D組は午後バスケットボールクリニックということで実技指導を受けました。プロの本格的な動きやスピードを見たり直接指導を受けることができました。



○D組 校外学習 12月9日（金）

D組は旭丘小学校あさひ学級6年生2名と一緒にお台場にある水の科学館に行ってきました。水に関わる学習を通じて、水の大切さや水を作る苦勞を学びました。昼食は外食で自分の食べたいものを注文して食べました。